

『総務の働き』 総務部担当執事 丁野雅子

みなさま、総務の働きと聞かれて、どのようなことを思い浮かべられますでしょうか。連盟発行の『執事/役員の仕事』には、「教会は、信仰共同体という霊的存在であると同時に、一つの組織体をもつ社会的存在です。社会的存在としての教会は、組織としての働きに伴う諸般の事務が求められます。この事務を行う部門を「総務(書記)」と呼びます」とあります。具体的には①書記・事務管理、②文書発行、③会堂の管理、④対外関係の業務、となります。教会の活動を取りまとめ(「総」はまとめる、束ねる、という意味)、滞りなく進めていくための働きです。現在、書記・事務管理においては事務職の働きに依るところが大きいです。相模中央教会では以前は総務執事とは別に書記執事がたてられていましたが、働きの専門性と継続性を期待し2000年より事務職を設定し教会の事務・会計業務を委託するようになりました。これにより教会の働きが円滑になり、また執事の仕事も明確になりました。総務部所属の委員会は、会堂管理、墓園管理、災害対策、チームは書記、週報作成、写真記録、教会車管理、ゴミ処理と、さまざまな面で多くの方々の働きが捧げられていることを感謝いたします。◆2025年度は、前年度からの課題でした多目的トイレの利便性向上、女子トイレの洋式化、ハレルヤキッズルームのエアコン完備などを行いました。また会堂の各部屋全体の照明LED化を進めました。駐車場には、壁や設備への衝突防止のためのポール設置をしています。また営繕の面では、雨漏り、水道管の経年劣化による水漏れへの対応をしました。会堂は1994年の献堂から32年、突然の問題発生にその都度の対応が必要になってきています。総務関連だけではなく、中長期計画で挙げられている課題の未着手項目として会堂全体の屋根の件とパイプオルガンのオーバーホールがあります。他の設備関係でもいくつかの課題がありますので、それらを総合的に見て計画・実行していくため、「大規模修繕検討チーム」が役員会内で立てられ検討してまいります。◆また教会は人が集まる場所として、教会内にとどまらず対外的にも責任があります。先日、大和消防署の立入検査がありましたが、事業所としての防災計画の提出が求められました。防火管理者は、吉田牧師が担ってくださっていますが、災害時には一人ひとりの適切な行動が求められますので、次年度は避難訓練はじめ、そのための備えもしていきたいと思っております。現在と将来の必要を見据え、見える主の体としての教会が健やかに保たれますよう、働きにご参加、お祈りください。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三火曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>